

〔以下、昭和6年9月～10月日記の備忘録〕  
【日記の日付…昭和6年9月27日（日）】

【本文】

九月廿七日 日 晴

朝国司浩介来ル

午后森平兵衛氏依頼ノ揮毫

關門ノ明月十六夜ノ月

ヲ認ム本日十六夜ニ因みてなり直

ニ之レヲ郵送ス

【日記の日付…昭和6年9月27日（日）】

【本文】

〔続き〕

后九時二十五分ノ急行ニテ西下

月代サヤカナリ桑田元通信

次官ト同車

【日記の日付…昭和6年9月28日（月）】

【本文】

九月廿八日 月 半曇

午前九時三十五分三ノ宮驛着

千代子康雄夫人出迎ヘラル

西店ニ投宿千代子ヲ送リカヘス

午后三時長田ニ至ルメロン壺個

ヲ持参

六時正彦歸宅今夜十時五十

五分神戸驛発彦島ニ赴キ明

日ノ\*企人設計船ノ\*試運轉ニ臨ムトノコト

【日記の日付…昭和6年9月28日（月）】

【本文】

「続き」  
三人晚餐ヲ共ニシ十時歸宿

【日記の日付…昭和6年9月29日（火）】

【本文】

九月廿九日 火 雨

夜来豪雨外出ニ便ナラズ  
来客アリ  
午后十時五十五分之汽車ニテ  
西下、秀雄、千代子、赤坂来リ見  
送ル

【日記の日付…昭和6年9月30日（水）】

【本文】

九月卅日 水 半曇

朝八時三十五分下ノ關着伊東、  
増田、小村、上岡、島村ナトノ出迎  
ヲ受ケ門司ニ渡リ電車ニテ若

【日記の日付：昭和6年9月30日（水）】

【本文】

〔続き〕

松ニ赴ク小倉ニテ浩介氏来リ  
乗ル

十時若松支店ニ入り十一時築港  
会社ノ重役会ニ臨ム出席\*松本\*麻生、  
大倉、吉田ノ諸氏本日ハ各組合  
ヨリ請願ノ入港銭引下ノ対策  
ヲ講スルコト諸議案外ニアリ三  
時過ニ及ヒタリ  
若松支店ニカヘリ全処ニテ井上  
達五郎氏ニ対面終テ小村ヲツレ

【日記の日付：昭和6年9月30日（水）】

【本文】

〔続き〕

共同漁業会社ノ事務処ニ赴キ

研究処ノ結果ヲ聴取シ活動

写真ニテ漁場\*獲\*ノ模様ヲ示サル

五時全処ヲ立子国司氏門司迄

送り来ル

七時頃ヨリ大吉ニテ伊東、小村

増田、島村ト晚餐ヲ共ニス正

彦公式運轉ヨリ歸り来リテ列

席止宿ス全人昨夜長府ノ鮎

川ニテ宿泊セリ

【日記の日付：昭和6年10月1日（木）】

【本文】

十月一日 木 曇

朝浩介氏尋ね来り漁場ニ附  
テノ報告アリ午餐ヲ共ニス正  
彦ハ全氏ノ紹介名刺ヲ携ヘテ  
若松共同漁業会社ニ赴ク  
伊東ハ朝玄閣迄来り午后一時  
改メテ来り訪フ全乗彦島ニ  
赴キ構内ヲ巡視\*三時\*歸リテ長  
府ニ鮎川ノ母ヲ省シ五時歸宿  
増田、伊東ト晚餐ヲ共ニシ八時

【日記の日付…昭和6年10月1日（木）】

【本文】

「続き」

富士ニテ

三十五分ノ汽車東上正彦  
若松ヨリ歸リテ同車ス

【日記の日付…昭和6年10月2日（金）】

【本文】

十月二日 金 半曇

朝六時三十五分神戸着伊

千代

東、原両氏ト全車ナリ赤坂  
子来リ迎フ正彦ハ直ニ造船処ニ  
赴キタリ余ハ西店ニ入ル  
后一時三宮支店ニ赴キ銀行支店  
長、栗田、桑田ノ兩人、保険西脇  
商事兼\*加\*藤ニ面会シテ模様ヲ聴キ

【日記の日付：昭和6年10月2日（金）】

【本文】

〔続き〕

三時長田ニ赴キ明日造庭

ノ指図ヲナシ典夫邸石垣築造

ノ様子ヲ見ル

正彦六時過歸宅昨日ヨリ

下痢セリトテ意氣消沈ノ模

様ナリ七時歸宿

十月五日 曇雨

秀雄宿許ニ待受居レリ晚

餐ヲ共ニシ手許ノ借財ヲ

聞糺ス



【日記の日付…昭和6年10月2日（金）】

【本文】

「続き」

合計三千八百円

内式千円不義理ノ分ヲ差

当リ考慮シ遣ハスコトトシ今後

給料ニテ家計費ヲ■ヒ得

ルヤヲ糺シタリ其決心ナケレバ

益ナシト迄申加ヘタリ

【日記の日付…昭和6年10月3日（土）】

【本文】

十月三日 土、曇雨

午后一時ヨリ四時迄造船処

夫ヨリ長田、三時過ヨリ雨

築園畫餅ニ寄ス正彦ハ

今朝ヨリ引籠リ居レリ

【日記の日付…昭和6年10月3日（土）】

【本文】

〔続き〕

金庫代百六十五円艸代

四拾五円ヲ渡シ外ニ女中二人

ニ拾円、森田、与市、赤坂ノ母ニ

各五円ヲ與ヘテ歸宿、

【日記の日付…昭和6年10月4日（日）】

【本文】

十月四日 日 雨

本日ハ茸狩リノ山開キノ日ト

聞キ正彦夫婦ヲ伴ヒ茸狩

ノ心得ナリシモ全人ノ病氣ト雨

ノ為メ御流レトナレリ

十時秀雄来リ午餐ヲ共ニシ

式時歸ル全人再度ノ報告

【日記の日付：昭和6年10月4日（日）】

【本文】

「続き」

ニヨリ木村七衛氏妻君干■三

百円ノ外尚妻君ニテ千百

余円ノ借財アルヲ聞キ驚キ

タリ

萩原氏ニ電話不在

八時三十八分ノ汽車ニテ東

上